
公益社団法人日本交通政策研究会 講演会

広域都市圏計画の必要性

—米国の事例を参考にして—

平成27年9月

拝啓 毎々格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当研究会は、交通政策、交通経済等関連する諸問題を中心に、時宜に適ったテーマにより講演会を開催することにしております。

日常生活や経済活動の広域化を踏まえて、わが国でも道州制や府県とその中心市の行政統合の必要性が唱えられていますが、実際の制度改革は必ずしも進んでいるとはいえません。

一方、従来から米国には鉄道・港湾に関する行政区域を越えた事業組織があることは、わが国でも知られていますが、交通に限らず広域の都市計画やエネルギー等の調達など実際の都市・地域行政に貢献し、活躍している官・民の計画調整機関があるようです。果たしてどのような計画機関なのでしょうか・・・

今回は、本研究会の正会員である名古屋大学大学院教授の黒田達朗氏より「広域都市圏計画の必要性—米国の事例を参考にして—」と題して、米国における代表的な計画機関の活動事例や都市計画家と住民との対立・紛争の歴史が、ジェーン・ジェイコブズのような都市に関する稀代の思想家を生み出しただけでなく、米国の計画機関が徹底した住民参加を制度化する契機となった歴史などを紹介し、人口減少や高齢化が進むわが国においても直近の制度改革の参考となることなどお話しいただきます。

何かとご多用とは存じますが、ご参加賜りたくご案内申し上げます。 敬具

1. 講師 黒田 達朗氏（名古屋大学大学院環境学研究科教授・情報文化学部長）
2. 講演テーマ 広域都市圏計画の必要性—米国の事例を参考にして—
3. 開催日時 平成27年10月26日（月）14:00～16:00
4. 開催場所 都市センターホテル（日本都市センター会館内）7F 706号室
東京都千代田区平河町2-4-1 TEL：03-3265-8211
アクセス：有楽町線「麴町駅」1番出口（半蔵門方面出口）より徒歩約4分
有楽町線・半蔵門線「永田町駅」4番・5番出口より徒歩約4分
南北線「永田町駅」9番出口より徒歩約3分
丸の内線・銀座線「赤坂見附駅」より徒歩約8分
JR「四谷駅」麴町口より徒歩14分

5. 参加費 無 料

6. お申し込み

会場の入場者数には限りがございますので、おそれいりますが、WEB、電子メールにより事前にお申込みください

お問い合わせ先

公益社団法人 日本交通政策研究会

〒102-0073 東京都千代田区九段北 1-12-6 守住ビル 4 階

TEL : 03-3263-1945 E-mail : office@nikkoken.or.jp

FAX : 03-3234-4593 Website : <http://www.nikkoken.or.jp/>